

2010. 1. 27 第58号



地域づくりコミュニケーション
— 農村振興メールマガジン —

農林水産省農村振興局



◆◆ 目 次 ◆◆

【 農村振興支援情報 】

- 平成22年度農林水産予算概算決定の概要（農村振興局関連）
 - ◇平成22年度農林水産関係予算の重点事項（農村振興局関連）

- 地域の実態に応じた多様な取組
 - ◇ [「わが村は美しくー北海道」運動](#)の取組
～ブロック別活動報告会の実施～

 - ◇山里の暮らし体感「遠野ふるさと村」のご案内
～岩手県遠野市～

 - ◇「九州グリーン・ツーリズムシンポジウム2009」が開催されました

 - ◇「平成21年度国営土地改良事業地区営農推進組織ブロック別情報交換会」を開催
—事業実施地区の営農の早期定着に向けた農地の有効活用について情報交換—

- 報告・お知らせ
 - ◇「2010世界農林業センサス」実施のお知らせ

 - ◇田園自然再生セミナー及びコンクール表彰式を開催（1/15）

 - ◇ため池百選の一般投票を受付中（1/8～2/8まで）

 - ◇産学官連携セミナーのご案内（2/16、23）

◇「農林漁家民宿おかあさん100選」サミット・認定式のご案内
(2/23)

- 平成22年度農林水産予算概算決定の概要（農村振興局関連）
 - ◇平成22年度農林水産関係予算の重点事項（農村振興局関連）

農村振興メールマガジンでは、平成22年度農林水産関係予算の重点事項のうち農村振興局関連の重点事項について紹介します。

- 中山間地域等直接支払交付金 265億円
中山間地域等における農業生産条件の不利を補正するため、農業生産活動を継続して行う農業者等に交付金を交付

- 農地・水・環境保全向上対策 (所要額) 273億円
地域ぐるみで農地・農業用水等の資源を効果的に保全・向上する共同活動と先進的な営農活動を実施する地域を支援

- 農村振興再生可能エネルギー導入支援事業 15億円
農村地域の再生可能エネルギー利活用を通じて、農村地域の新たな価値の創出や活性化を支援

- 農山漁村地域整備交付金（公共） 1,500億円
地域の創意工夫を活かした農山漁村地域の総合的な整備を支援するための交付金を交付

詳細については、農林水産省ホームページをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/budget/2010/index.html>

(総務課総括班)

- 地域の実態に応じた多様な取組
 - ◇ [「わが村は美しくー北海道」運動](#)の取組
～ブロック別活動報告会の実施～

本運動は、「参加しよう、広げよう、いいもの伝えよう」をキャッチフレー

ズに北海道の農林水産業を豊かにするために平成13年にスタートし、隔年でのコンクール開催やさまざまな情報発信、普及啓発活動などを実施しています。

今年度は本運動の一層の浸透を図るため、参加団体・地域住民の方々などを対象として各地域で[ブロック別活動報告会](#)を実施しています。

また、平成22年2月1日（月）には[全道活動報告会](#)を開催します。報告会では第4回コンクール受賞団体による活動報告、（株）北海道宝島旅行社の鈴木宏一郎氏による講演があります。当日の参加申込も可能となっておりますので、この機会にわが村運動の取組に足を運んでみてはいかがでしょうか。

全道活動報告会の詳細については、次のホームページをご覧ください。
http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_nogyo/wagamura/seminar/kh/katudou2.html

（北海道開発局農業振興課）

◇山里の暮らし体感「遠野ふるさと村」のご案内
～岩手県遠野市～

遠野ふるさと村は、敷地面積8.8ヘクタールの広大な敷地内に江戸時代から明治時代に建てられた南部曲り家等の古民家7棟を移築し、田んぼや畑、水車などとともに昔ながらの農村風景を再現しています。

また、遠野郷に伝わる文化や伝統を守る地元のじっちゃん・ばっちゃんが“まぶりっと”衆として村にいらっしゃるお客様をおもてなししています。

このような古き良き農村の情緒ある風景が維持されているため、坂本龍馬の生涯を描いた、2010年大河ドラマ「龍馬伝」のロケが行われました。

遠野ふるさと村での撮影シーンを体感しながら、農作業やわら細工などの山里の暮らしを“まぶりっと”衆とともに体験してみませんか。

詳しくは、次のホームページをご覧ください。
<http://www.tono-furusato.jp/>

※“まぶりっと”とは漢字で“守りっ人”と書き、伝統・手技を伝承する人のことを意味します。

（東北農政局農村計画部農村振興課）

◇「九州グリーン・ツーリズムシンポジウム2009」が開催されました

12月12日(土)、熊本県人吉市にある中小企業大学校人吉校において、「九州のムラたび応援団」、「熊本ツーリズムコンソーシアム」、「人吉球磨グリーンツーリズム推進協議会」の主催で九州グリーン・ツーリズムシンポジウム2009が開催され、九州各地から実践者を中心に350名余が参加しました。

シンポジウムでは、青木辰司氏(東洋大学社会学部長・教授)より「転換するグリーン・ツーリズム」と題した基調講演が行われ、その中で「行政と実践者をつなぐ中間的な支援体制や、その中で機能的に動き回る人材の育成が必要」と強調されました。

その後、「NPO、財団」、「行政マン」、「観光とツーリズム」、「GT活動拠点」をキーワードにした4つの分科会に分かれ、討議が行われました。「GT活動拠点」の分科会においてコーディネーターを務めた本田節氏(火の国未来づくりネットワーク会長)は、「グリーン・ツーリズムの立ち上げは行政主導が必要だが、いずれは住民が自立しなければならない」と強調されました。

九州ムラたび応援団の取組については、次のホームページをご覧ください。
<http://muratabi.jp/>

(九州農政局農村計画部農村振興課)

◇「平成21年度国営土地改良事業地区営農推進組織ブロック別情報交換会」を開催

—事業実施地区の営農の早期定着に向けた農地の有効活用について情報交換—

九州農政局では、国営土地改良事業地区営農推進対策連絡委員会の活動の一環で、昨年11月26日～27日に宮崎県都城市内で、「畑地農業振興のための農地の有効利用」をテーマに、管内国営畑地かんがい事業地区を対象とした情報交換会を開催しました。

この情報交換会は、全国的にも進んでいない畑地の利用調整や地域ぐるみの営農の取り組みを各地区に促すもので、地元都城市で先駆的な農業経営を営む2法人の講演と、各地区の取り組みに関する情報交換会を行いました。参加地区の中には、今後、農地情報の一元化や調整を安心して任せられる体制の整備

を予定している地区もあり、取り組みの具現化が期待されます。

ブロック別情報交換会については、九州農政局営農情報誌「みのり21」で紹介しています。(次のホームページよりご覧いただけます。)

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/keikaku/minori21/minori21.html>

(九州農政局農村計画部資源課)

■ 報告・お知らせ

◇「2010世界農林業センサス」実施のお知らせ

農林水産省では、平成22年2月1日現在で、「2010年世界農林業センサス」を実施します。

農林業センサスは、我が国の農林業・農山村の現状と動向を明らかにし、農林行政の推進に必要な統計データを整備・提供することを目的として、農家や林家など農林業を営むすべての世帯・法人を対象に5年ごとに実施している調査です。農林業センサスは「農林業の国勢調査」とも言えます。

調査票に記入された事項については、統計以外の目的には使用いたしません。また、個人情報「統計法」により保護されています。

農林業センサスは、農林業の現在を知り、未来へつなげる大切な調査です。ご協力をお願いします。

詳しくは、次のホームページをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/>

(大臣官房統計部)

◇田園自然再生セミナー及びコンクール表彰式を開催(1/15)

1月15日(金)、名古屋市内において農林水産省と(社)農村環境整備センターの主催による「田園自然再生セミナー」を開催し、赤松農林水産大臣、吉村農村振興局長出席のもと田園自然再生活動コンクールの表彰式を行いました。

本セミナーは農業の営みを通じてつくりあげられてきた様々な生きものを育む田んぼや水路、ため池などの豊かな農村環境を保全・再生する「田園自然再生活動」の優良事例の表彰と併せて毎年行われているものです。

7回目となる今回は、本年10月に開催される生物多様性条約COP10に向けて、農村地域における生物多様性の保全活動を紹介するため、COP10パートナーシップ事業として名古屋市内で開催しました。

表彰式では、赤松農林水産大臣より「水・緑・環境を維持するとともに、農林水産業と食品産業を活性化し『食と地域』を再生することが私の役目。受賞団体の優れた取り組みを範として、生物多様性の保全に寄与する取り組みが全国各地に広がることを期待している」との祝辞の後、鞍掛山麓千枚田保存会（愛知県新城市）に赤松大臣より農林水産大臣賞が授与された他、農村振興局長賞他5賞が授与されました。

表彰の様子は、次のホームページをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/p_gal/min/100115.html

（農村環境課生物多様性保全班）

◇ため池百選の一般投票を受付中（1/8～2/8まで）

農林水産省では「ため池百選」の一般投票を1月8日（金）から受け付けています。

これまで、昨年の4月から7月にかけて「ため池百選」の対象となるため池の募集を行い、全国から600を上回る応募が寄せられました。この中から11月下旬に開催された「ため池百選選定委員会」において、一般投票の対象となる287箇所が選ばれました。

一般投票の結果は、「ため池百選選定委員会」が行う最終選考において参考にする予定です。候補となっているため池は、農林水産省のホームページからご覧頂くことができ、投票もホームページから行うことができます。皆様の投票を待ちしております。

詳細については、次のホームページをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/bousai/tameike/>

（防災課防災班）

◇産学官連携セミナーのご案内（2/16、23）

本事業では、企業と農村地域の地方自治体等とを結ぶことにより農村地域へ

の工業等導入を促進させることを目的に産学官連携セミナーを順次開催します。
今回は、2月16日（木）に仙台、2月23日（火）に東京において開催されます。

詳しくは、次のホームページをご覧ください。

<http://ritti.jp/>（「セミナー・フォーラム情報」をクリック）

（都市農村交流課定住促進班）

◇「農林漁家民宿おかあさん100選」サミット・認定式のご案内
（2／23）

2月23日（火）13時から、ウェルシティ東京（東京都新宿区）において、「農林漁家民宿の質の維持・向上」をテーマとした「第3回農林漁家民宿おかあさんサミット」が開催されます。

本年度における「農林漁家民宿おかあさん100選」選定者の認定式のほか、選定された「おかあさん」の経営内容や活動実績などの紹介を通じて農林漁家民宿の質の維持・向上の参考として頂くため、選定委員会委員長で東洋大学教授の青木辰司氏をコーディネーターに、選定された「おかあさん」の代表者によるパネルディスカッションを実施致します。

ご興味のある方は、以下の「第3回農林漁家民宿おかあさんサミット」事務局へお問い合わせください。

（財）都市農山漁村交流活性化機構 宍戸・濱口

電話：03-3548-2714

（都市農村交流課グリーン・ツーリズム班）

◆◇ 編集後記 ◇◆

2010年は国連が定める国際生物多様性年です。ご存じのとおり、本年10月には、生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が愛知県名古屋市で開催されます。

今号の中で、「田園自然再生セミナー」について記載してありますが、これはCOP10パートナーシップ事業として開催されたものです。また、COP10の開催にあわせて、様々なイベント等が開催されるようですので、ご関心のある方は参加してみたいかがでしょうか。（M）

◆◇ ご意見をお寄せ下さい ◇◆

本メールマガジンに対する皆さまの声を遠慮なくお寄せください。また、皆さまの地域での活動や取組の紹介などもお願いします。皆さまからのご質問・ご意見、地域の活動などの情報につきましては、可能なかぎり回答あるいは紹介させていただきます。

本メールマガジンに関するご質問・お問い合わせについては、次のサイトから送信をお願いします。

<https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/b6c2.html>

農村振興メールマガジンのバックナンバーは次のサイトでご覧いただけます。

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/nousei/e-mag/index.html>

■ 編集発行

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局農村政策部農村計画課（担当）増田

TEL：03-3502-6001 FAX：03-3501-9580
